

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆文	隸書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
妊	ニン はらむ 常①								五経文字
姪	②							多宝塔碑	
妨	ボウ さまたげる 常①							常季繁墓誌 玄言新記明老部	聖武天皇雜集
妙	ミョウ たえ 常①						郭有道碑 漢時帖 張猛龍碑 孔子廟堂碑	王勃詩序	
妖	ヨウ あやしい 人→新①							玄朗墓誌 李璧墓誌 千祿字書	豐替指歸
姐	シャ ソ あね あねご ①								
委	イ くわしい すてる まかせ 教3常①							敬史君碑 皇甫藏碑 五経<序>	王勃詩序
姑	コ しばらく しゅうとめ ①							馬王堆 熹平石經	王獻之 論語書詩 昭仁寺碑

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考

【妊】「姪」という異体字がありそれを顔真卿が「多宝塔碑」で書いている。「明治の漢字」では「姪」の〈許容〉の異体字に「妊」をあげている。その通りなら「妊娠」を「妊妊」と書いてもよいことになる。

【妙】説文篆文では「妙」の字体。弘道軒四号と三号では字体

が異なる。  
【妖】説文篆文では旁にくさかんむりのようなものがある。  
【委】漢代以降、左右に伸ばすのは「女」の横線で、「禾」の右ハライは止める。